



第 112 号

編集発行

愛知県立大府東高等学校 P T A

令和 2 年 7 月 30 日 発行

入学式 4月6日(月)

ごあいさつ



P T A 会長
小崎義弘

本年度 P T A 会長を一年間努めさせていただき、小崎義弘と申します。会員の皆様におかれましては平素より P T A 活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

伝統ある大府東高校の P T A 会長という大役を仰せつかり重責を感じております。なにごとでも力不足ではございますが、役員の方々との力を合わせて活動に取り組んでまいりますので、更なるご指導を賜りますよう、宜しくお願ひ致します。

さて本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響により、学校臨時休業、オリンピックの延期をはじめ、政府からの緊急事態宣言の発令など、私達の一般生活においても様々な活動自粛が求められるとともに、先が読めない状況にあります。会員皆様のご家庭においても、様々な対応に追われて大変なご苦労をされているものと思ひます。

P T A 活動においても書面による総会の開催など例年と同様の活動が不可能な状況を余儀なくされております。子ども達の高校生活においても、これまで当

り前に行われていた授業、部活動、各種行事が例年と違う形で行われ、当たり前に行えない苦しさを感じていると思ひます。しかし、このような状況だからこそできない事ばかり目を向けるのではなく、たくさんの方々の意見を出し合い、ひとつの「できる方法」を見つける事が必要だと思ひます。そして、私達大人がその様な姿勢を見ることが子どもたちの有意義な高校生活に繋がると考えます。たとえその結果が満足いかないものになつたとしても一生懸命に考え、意見を出し、考える事が大切な事であり、そのようなプロセスの中にこそ多くの学びがあり、成長につながると思ひます。

最後に、P T A の活動においても、例年と違い大きな変化が求められると思ひます。会員皆様におかれましては、まだまだこれから先も不透明な社会状況が続いていく中ではありますが、P T A 行事へ参加して頂き、様々な機会ですら直にご意見やご考えを聞かせて頂きたいと思ひます。その様な少しずつの活動の積み重ねが、大府東高校の発展と子どもたちの高校生活における成長につながると思ひ、子どもたちの成長の一助になるよう活動していきたいと思ひます。一年間の短い期間ではありますが、私自身も微力ながら少しでもお役に立てる様に活動して参りますので、何卒皆様のご協力を重ねてお願い致します、ご挨拶とさせていただきます。

新しい時代に向けて



校長
土井善和

令和の時代になって最初の入学生である大府東高校第三十八回生を迎え、希望に満ちた新しい時代の幕開けとなるはずだったこの令和二年度が、まさかこのような状況になろうとは誰も予想もしていなかったことと思います。この原稿を書いている五月はまだ学校休業が続いており、臨時の登校日以外ほとんど学校に行けない状態が続いていますが、ようやく感染状況も落ち着いてきており、六月からは学校が再開できる見通しとなりました。この会報が読まれる頃には、感染症が収束し、正常な教育活動が行われていることを強く願っています。

こういう状況下ではありませんが、今年度は P T A のご協力で、きずなネットによるメール配信システムを導入することができました。臨時学校休業中の連絡等に大いに役立ったことをご承知のとおりです。改めて感謝申し上げます。今や、授業も含めて情報機器を利用した動きは一気に広がりを見せています。今後も情報を取り扱いには十分留意しつつも、効果的な活用を推進して参ります。

この新型コロナウイルス感染症の問題は今なお大きな影響を及ぼしていますが、学校としましては、まずはお子様の健康を最優先しながら、一刻も早く教育活動を通常に戻し、高校生活の充実、そして次の進路に向けた指導を進めて参ります。約二か月に及ぶ授業の遅れについては、夏休みを短縮することでは例年と同じ状態に戻す予定です。部活動もおそらくかなり回復していると思いますが、三年生につきましては、納得のいく終わり方は難しいかもしれません。スポーツや趣味に親しむことはこの先もずっと続けることができます。不本意かと思いますが上手く気持ちを切り替え、次に向かつてほしいものです。

学校行事については、少しでも仲間と協働できる場面を残したいと考えております。九月の大東祭は、内容を工夫して何とか実施したいと思っています。伝統行事であるエルウッド校との姉妹校交流は、今年度は実施できませんが、来年度は双方とも、訪問と受入れを行う予定で動いております。二年生の初めての沖縄修学旅行も、時期を二月下旬に変えて実施します。

その他いろいろなことが予定どおりにはいきませんが、コロナとともに生きていく新しい時代にしつかり対応すべく、小崎 P T A 会長様を始めとする P T A の皆様と協力して取り組んで参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

P T A 活動

令和二年度 P T A 事業計画

- 1 P T A 総会 書面議決
 - 2 P T A 役員会・支部委員会・委員会等
 - ① P T A 役員会
 - 第一回 六月十二日(金)
 - 第二回 九月十八日(金)
 - 第三回 一月二十九日(金)
 - 第四回 三月二十六日(金)
 - ② P T A 役員・支部委員会合同会議
 - 第一回 六月十二日(金)
 - 第二回 一月二十九日(金)
 - ③ P T A 委員会
 - 第一回 六月十二日(金)
 - 第二回 一月二十九日(金)
- 実践活動
- 進路指導委員会 文化祭でのカフェ模擬店 今年度中止
 - 生徒指導委員会 職員合同校外指導(一回) 今年度中止
 - 職員合同交通指導(三回) 今年度中止
 - 環境整備委員会 マリーゴールドなどの植栽(年一回) 今年度中止
 - 総務委員会 文化祭での駄菓子屋模擬店 今年度中止
 - 国際交流委員会 文化祭での展示ブース 今年度中止

- 3 文化委員会
 - 球技大会・体育祭でのジュース販売
 - 研修会・大会等

- ① 知多地区高 P 連協議会 今年度中止
- ② P T A 指導研修会 今年度中止
- ③ 東海地区高 P 連三重大会 今年度中止

- ④ 全国高 P 連島根大会 来年度へ延期
- ⑤ 知多地区高 P 連研究集会 武豊町民会館ゆめたろうプラザ 今年度中止

- 4 P T A 会報『冬青』発行(三回)
 - 第百十二号 七月 三十日(木)
 - 第百十三号 十二月十一日(金)
 - 第百十四号 二月二十四日(水)

令和二年度 P T A 常任役員および委員会

役職名	氏名	委員会
会長	小崎 義弘	全委員会総括
副会長	森 正寛	委員会総括
副会長	金原 未来	委員会総括
書記	太田 愛子	総務委員
書記	鈴木 志穂	国際交流委員
会計	中村 有起	環境整備委員
会計	深谷 由樹	文化委員
監査	石田 久美	進路指導委員
監査	新田 直美	生徒指導委員
顧問	霍 田 成弘	全委員会総括

お詫び
先日配布致しました「令和二年度 P T A 総会しおり」に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

P. 8 (誤)「>井 恵子」
↓(正)「辻井 恵子」

令和 2 年度 P T A 支部役員および委員会

Table with 3 columns: 三河支部, 氏名, 委員会. Lists members like 黒田 真由美 (支部長), 西田 静香 (副支部長), etc.

Table with 3 columns: 知多支部, 氏名, 委員会. Lists members like 濱 典子 (支部長), 尾崎 祐子 (副支部長), etc.

Table with 3 columns: 大府北支部, 氏名, 委員会. Lists members like 伊藤 薫子 (支部長), 渡邊 順子 (副支部長), etc.

Table with 3 columns: 大府支部, 氏名, 委員. Lists members like 中村 有起 (支部長), 辻井 恵子 (副支部長), etc.

Table with 3 columns: 名南東支部, 氏名, 委員会. Lists members like 近藤 清美 (支部長), 木原 里美 (副支部長), etc.

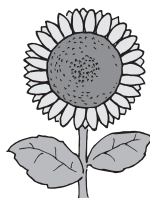
Table with 3 columns: 大府西南支部, 氏名, 委員会. Lists members like 荒谷 典子 (支部長), 小椋 和美 (副支部長), etc.



令和 2 年度 転入・転出者紹介

【転入】

- 教諭 谷田 育子 (国語) 半田東高等学校
新帯 聖文 (理科) 東海南高等学校
吉田 善之 (数学) 春日井西高等学校
山木 玲奈 (英語) 知立高等学校
深見 健吾 (理科) 刈谷高等学校
浦岡 瑠偉 (数学) 豊田南高等学校
再任用教諭 竹内 康視 (地歴) 継続
中山 史信 (数学) 継続
石川 憲夫 (国語) 新規
任期付任用教諭 仁科 由梨 (英語) 阿久比高等学校
任期付任用講師 井上賢志朗 (情報) 大府高等学校・本校
青島 加苗 (理科) 本校臨任より
臨時的任用実習助手 佐藤 佳奈 継続
非常勤事務職員 西田 隆夫 新規
用務業務員 戸田 真治 継続
山本 大蔵 継続
【NESA】 ティモシー・レネイン



【転出】

- 教諭 石川 憲夫 (国語) 退職、再任用 (本校)
菊地 純弥 (理科) 知立高等学校
浦崎 真也 (数学) 豊田東高等学校
牧 卓也 (数学) 旭丘高等学校
宮治 孝介 (英語) 大府高等学校
再任用教諭 河野 清一 (英語) 退職、非常勤講師 (本校、知多翔洋)
期限付任用教諭 鈴木裕一郎 (理科) 尾北高等学校
期限付任用講師 戸谷 保之 (数学) 非常勤講師 (本校)
臨時的任用講師 青島 加苗 (理科) 任期付任用講師 (本校)
荒木 優哉 (英語) 豊田南高等学校
任期付任用教諭 杉浦 未妃 (保体) 退職、民間企業
再任用主事 吉森富佐子 退職

【非常勤講師】

- 転出 柴田正憲 (国語) 神野秀雄 (理科) 森英輔 (数学)
中條直人 (美術) 井上賢志朗 (情報)
加藤厚子・細田泰子・山田有美子 (家庭科)
ジョン・クアム (NESA)
継続 布野幹夫 (地歴) 福岡紀杏 (英語) 土田あゆみ (英語)
古橋和秋 (情報) 栗田京子 (音楽)
新規 戸谷保之 (数学) 河野清一 (英語)
田畑佳樹 (保健体育) 平松伸之 (美術)



離任挨拶

本年度は残念ながら離任式を行いませんでした。その代わりに退職・離任された先生方からメッセージをいただきました。

心に残る言葉

石川 憲夫

言葉は人生に「角度」をつけてくれます。夏休みに入試問題を解き、土曜の夜に読書をする。これが、大府東高校へ勤めるようになってからの習慣でした。論語に「学びて思わざれば則ち罔し。思いて学ばざれば則ち殆し。」という一節がありますが、学びながら、心に残る言葉を持つことによって、人生が大きく変化するというのが、私の実感です。今でも、通勤の中に入っている本があります。『向上心』(サミュエル・スマイルズ)です。副題があり、「筋金入りの自分論」。自分らしさに自信が持てなくなったり、ちよつと読み直しては、生き方を確認していました。

もう一冊紹介します。『木のいのち木のころ』です。法隆寺大工の西岡常一棟梁が伝えていることは、師匠と弟子が一对一で対する育て方です。手間と時間がかかり、早道のない育て方です。古いやり方ではあるけれども、人を育てるために、本当に大切なことであると教えられました。

今年には自分の周りにいる人と一緒に、緒方貞子さんの著書に書かれていた「共に生きる」ということについて考えていこうと思っています。

菊地 純弥

私の大府東高校十一年間を簡単に言い表すと、『我武者羅にやってきたことも時間と共に慣れてくる。慣れてくると辛さはなくなるけど、成長もしなくなる。だから、また新しいことを経験しなければならぬ。』この繰り返しでした。今回の転動もこの延長だと考

えています。私は新しい経験も乏しく、惰性で日々を過ごすことが、時間をムダにしているようで怖いのです。教員として生徒の成長が喜びである以上、自分自身が知識・経験や人脈を増やし、環境の変化にも対応しながら成長し続けたいと考えています。なぜなら私の成長が、関わる多くの生徒の成長に繋がると考えているからです。生徒の皆さんは、これまで以上に学べることの大切さをそれぞれ実感していると思います。力の限り自分の目を、謙虚に誇り高くやり抜いてください。正しい道はたいいてい険しいですが、つらい時こそ経験値をたくわえている時と信じて。

牧 卓也

大府東のみなさん、こんにちは。このような事態で、離任式において直接お話をできなかったことがとても残念です。七年間大府東でお世話になりましたが、中でも三七回生のみなさんと過ごした昨年一年間は、本当に充実して楽しい一年間でした。一年二組の生徒は素直な子たちばかりで、大府東最後の生徒みんなの担当ができて本当によかったです。みんなの将来の夢が叶うよう応援しています。最後にハンドボール部の子たちへ。自分たちの集大成を発揮する場がなく、とても悔しい気持ちだと思えます。でもここで出会った仲間との絆や、今まで部活に費やした時間、努力の量は先輩たちにも負けません。それがみんなの今後の人生の糧になっていくことを望んでいます。

また機会があればどこかで会いましょう。

浦崎 真也

大府東高校での六年間では、一年と二年文・理、三年文・理の五回の担任、二つの部活動の顧問、四つの分掌など様々な経験をさせていただきました。この経験を通して、全体に目を向けることなど、様々な力を身につけることができたこと、今の学校で改めて感じています。

生徒の皆さんは私よりもたくさん時間を過ごし、より多くの新しいことを経験すること

ができます。新しいことを経験できる機会が訪れたとき、積極的に受け入れるかどうかは皆さん次第です。ぜひ前向きに挑戦して欲しいと思います。

最後に関わってくださった皆様、大府東での六年間、こんな未熟な人間を温かく受け入れていただき、ありがとうございました。

宮治 孝介

大府東高校のみなさん、お久しぶりです。お元気ですか？

新型コロナ感染症の影響で、楽しみにしていた行事や集大成になるべき総体がなくなりました。特に三年生の皆さんの気持ちを考えると言葉も出ません。

皆さんがこれまでしてきた努力は決して無駄ではありません。必ず未来のどこかの自分に届いているはずですよ。ですから、どうかコロナのせいで努力することをやめないでください。

その努力の対象は、今までは変わるとは思いますが、いつか目標とする自分になれるまで前を向き続けてください。大府東では、その努力をする環境が整っていると思います。お隣の大府高校から応援しています。

杉浦 未紀

これまで生きてきて思うことは、「強い人間になってほしい」ということです。力が強いとか、権力があるとか、そういうことではありません。

私自身、耐えなければいけない事が多くありました。今まで経験したことがない壁が出てきて、それを乗り越えなければならぬ時が来るでしょう。

それでも前を向ける人間であってほしい。家族や友人も支えてはくれませんが、壁を代わり乗り越えてはくれません。最後は自分自身、一人です。

強くなる為に、今何をすべきですか？時間はすべての人間に平等です。どんな一日を送るか、翌日の自分が決まります。十代の日々を積み重ねた結果が、大人の自分の姿だ

と私は感じています。笑顔あふれる人生をみんなが送れることを願っています。ありがとうございました。

鈴木裕一郎

大府東のみなさんこんにちは。長い休校期間を経て、元気に過ごしていますか。私は尾北高校で元気に勤務しています。

さて、休校期間中はどう過ごしていましたか。私は親しい友人とオンライン飲み会をやってみました。やる前はそう面白くもないだろうと思っていました。が、久しぶりに顔をみて話すことに楽しさと安心を感じ、やはり人は人との繋がりが不可欠であり、その大切さを実感しました。きっとみなさんも同じなのではないでしょうか。

高校生活の中では、多くの友人や先生とつながりを持ちます。また、これからは数多くつながりが待っているはずですよ。厳しい経験をしたからこそ人とのつながりを大切に、充実した道を歩んでください。みなさんのこれからの活躍を期待しています。

荒木 優哉

みなさんお久しぶりです。このような形でお別れの挨拶をすること、とても残念です。いま私は、新しい学校に来て忙しく日々を過ごしています。みなさんも学年が上がりに大変だと思いますが頑張ってください。

さて、離任に際してみなさんに一つだけ伝えたいことがあります。それは、「夢をあきらめないでほしい！」です。好きな職業に就く、お金持ちになる、イケメンと結婚するなど、どんなものでもいいです。もしかしたら、志半ばで諦めてしまうこともあるかもしれませんが、それまで過程が大切だと私は思います。無駄なことなどありません。

私自身夢をあきらめかけていますが、近い将来その夢を叶えようと秘かに思っています。みなさんも自分を信じてまっすぐ進んでください。私も先生たちもみなさんの味方です。これからの人生が幸せで満ち溢れていることを心から願っています。